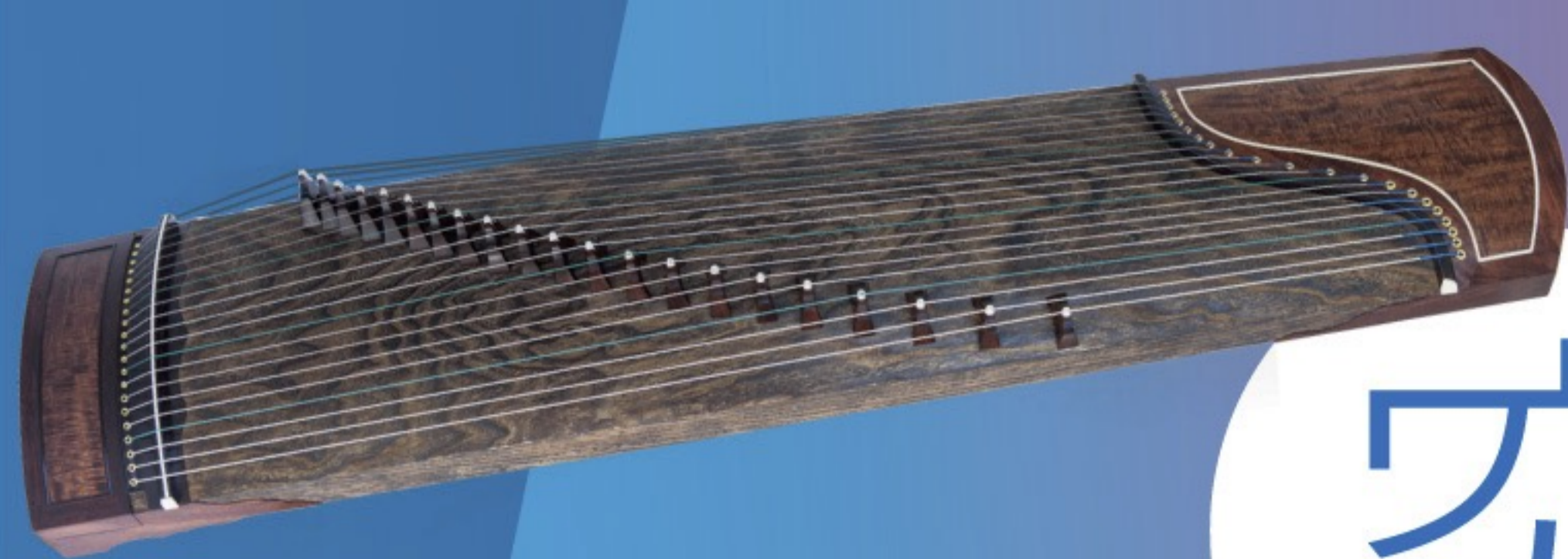


TCM



伝統の音



多音研究
文化領域
音楽研

教員コンサート

2023年11月4日

土

18:30 開演 開場 18:00

会場

東京音楽大学
中日黒・代官山キャンパス
TCMホール



創造の音

曲目
水底の風 加古隆 作曲
ラーガ・デーシュ (Raga Desh)
古典曲「パンクル」 Ladrang PANGKUR pelog barang 他

出演

滝田美智子 (二十五絃箏)
小日向英俊 (シタール)
樋口なみ (ガムラン)
ウメトバエワ・カリマン (コムズ)

毛丫 (古箏・古琴)
木村佳代 (ガムラン)
王明君 (笛子)

共演

逆瀬川健治 (タブラー)
折田美木 (ガムラン)
スミヤント (ガムラン)
横田誠 (ガムラン) 他

入場無料

事前申込の
ご協力をお願い
いたします



<https://forms.gle/KPP6LFzrgpVBeApBA>

オンライン
配信

配信予定
11月17日
(金)



<https://sites.google.com/view/tcmtabunka>

主催：東京音楽大学多文化音楽研究領域研究室

問い合わせ：tcmtabunka@gmail.com





滝田美智子 (二十五絃箏)

幼少より箏曲を二代目野坂操壽氏に師事。東京音楽大学卒業、邦楽演奏コース修了。二十五絃箏による5回のリサイタル他、[邦楽Ensemble21]立ち上げ、録音、公開講座等の演奏活動。オーケストラアジアジャパンにて13年間ソリストを歴任。関西フィルハーモニー管弦楽団主催 富田勲 [源氏物語幻想交響絵巻]、ラ・フォル・ジュルネ 2019 で井上道義指揮新日本フィルハーモニー交響楽団と協演等、オーケストラとの協演多数。現在、東京音楽大学客員教授、桐朋学園芸術短期大学特別招聘教授。国立音楽大学非常勤講師歴任。



毛丫 (古箏・古琴)

北京生まれ。東京音楽大学特任教授、中国箏琴海外学会理事長。(中国)中央音楽学院古箏実技専攻首席卒業、東京藝術大学修士・博士(音楽学)学位取得、アメリカコロンビア大学客員研究員。日本文科省の科研費による古箏の楽器改良及び「WS 移柱転調箏」を考案。器楽ミュージカル『老北京胡同』を独創。即興演奏アルバム『荒城の月』が(米)世界音楽賞銀賞受賞及び全米第18回独立音楽賞ノミネート獲得。



小日向英俊 (シタール)

1987年インド国立バナーラス・ヒンドゥー大学大学院修了。主要論文に「The reception of Asian musics in modern Japan: Who were learning Indian music?」(2006年)など多数。1977年よりスシュマ・オマタ、1982年よりクリシュナー・チャクラヴァルティの各氏にシタールを師事。ソロ・アルバム「月明かりの下で Under the Moonlight」がある。



王明君 (笛子)

上海出身。北京中央音楽学院を経て中国音楽学院を卒業。卒業と同時に国家最年少記録で専任講師に任命される。85年来日し、東京藝術大学大学院修士課程(音楽学)修了。これまで、東京交響楽団、広島交響楽団、旧新星日本交響楽団、北京中央楽団、上海交響楽団など多くのオーケストラと共演。99年、文化庁主催のコンサートでは天皇、皇后両陛下の御前で演奏を行う。03年には自作曲「星光」で民音芸術大賞を受賞。日本ではこれまで7枚のCDを発表。現在、昭和音楽大学教授、東京音楽大学大学院非常勤講師。



ウメトバエワ・カリマン (コムズ)

キルギス(クルグズ)共和国ビシケク出身。三弦楽器のコムズ、金属口琴、木製口琴などの伝統楽器の演奏家。クルグズ国立音楽大学で民族楽器学科を卒業。2007年東京芸術大学音楽研究科へ入学するため来日し、2010年修士課程を修了。2014年博士号取得。現在、東京音楽大学でコムズの講師として活動する傍ら、クルグズおよび民族音楽の普及活動として演奏活動を行っている。



木村佳代 (ガムラン・鍵盤楽器グンデル担当)

東京音楽大学ガムラン講師。東京芸術大学音楽学部楽理科卒業。在学中にガムランを始める。1997～2001年度東京音楽大学附属民族音楽研究所研究員。2010年より現職。現在、ガムラン演奏家、指導者として活動中。ガムラングループ「ランバンサリ」代表。NPO 法人日本ガムラン音楽振興会理事。共著に東京音楽大学附属民族音楽研究所講座『ガムラン入門』(スタイルノート)、皆川厚一編『インドネシア芸能への招待』(東京堂出版)



樋口なみ (ガムラン・太鼓チブロン担当)

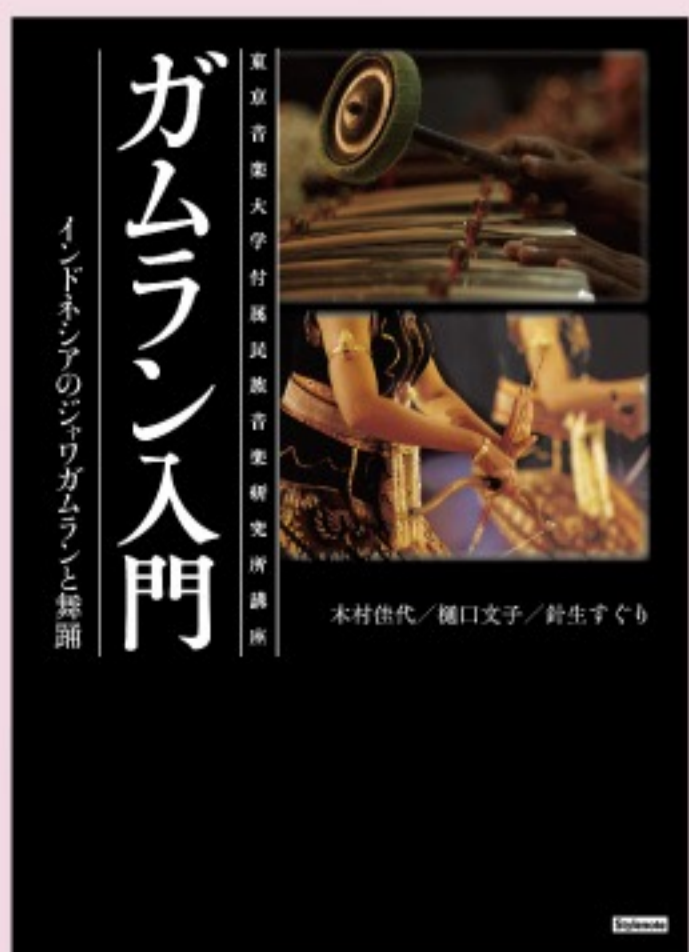
東京音楽大学ガムラン講師。研究者名は樋口文子。1997～2006年度東京音楽大学附属民族音楽研究所研究員、2010年より現職。舞台では主にクندان(太鼓)、ガンバン(木琴)等を演奏。2023年8月刊行の書籍『ガムラン入門』(スタイルノート)では実践編等を執筆。近年は小中高校向け「オンライン・ガムラン教室」やガムランを使った音楽療法にも取り組んでいる。NPO 法人日本ガムラン音楽振興会理事。

東京音楽大学多文化音楽研究領域とは

多文化音楽研究領域は、様々な文化や民族性を背景とした世界観のもとに育まれてきた世界各地の伝統的な音楽文化を、現代社会における文化の多様性の視点から探求し、新たな音楽文化を創造し、発信していくことを目指す研究領域です。

日本を含む世界各地の伝統音楽を専門に研究する者が、互いの専門研究領域を学び合うことで、新しい音楽文化を創り出していきます。

『ガムラン入門 インドネシアのジャワガムランと舞踊』



東京音大ガムラン講座が本になりました！

ガムランと舞踊の歴史、楽器紹介、演奏法、踊りの基礎に用語解説まで、本校講師陣が懇切丁寧に執筆。わかりやすい写真と動画も満載です！

東京音楽大学
中目黒・代官山キャンパス
TCMホール



〒153-8622 東京都目黒区上目黒1-9-1

JR「恵比寿駅」より徒歩14分

東急東横線
「中目黒駅」「代官山駅」より徒歩5分

<https://www.tokyo-ondai.ac.jp/>

